



Navi 対談

聞き手

公益社団法人 国際経済交流協会

会長 米田 建三

学校法人 拓殖大学

総長

渡辺 利夫

日本よ、新しい時代に向かって踏み出そう

米田 本誌創刊以来続いている「ナビ対談」ですが、教育界の方は先生が初めてです。ところで先生は甲府市内のご出身と伺いましたが、私は長野県の大町市出身ですので、中央線でつながるという縁を感じております。

渡辺 今日は3月10日で東京大空襲の日ですが、甲府も徹底的な空襲を受けました。山奥の当時人口8万人の小さな町に昭和20年7月6日、B29が139機来襲し70万トンの焼夷弾、爆弾を落として1127名が死亡。そのうち427名が湯田地区ですが、そこは私が住んでいたところです。甲府の町を、逃げられないように全部焼夷弾で囲んでその真ん中が爆撃されたんです。

米田 お送りさせていただいた私の著書『日本の反論』で空襲の記録をつづりました。70年前の9日の未明からの東京大空襲で、約10万人が亡くなられました。空襲だけ考えても日本全国の民間人の被害は相当なものがあります。あれは明らかに非戦闘員に対する無差別攻撃を禁じた戦時国際法違反です。私は反米主義者でもないしが事実は事実として日本人がしつ

自国の主張を語らず、むしろ封印する日本官僚による国益毀損

かりものを言うという習慣をそろ身に付けなければならないと思っています。

渡辺 そうです。言わなきゃいけない。少なくとも記録はきちんとして相互に共有することで、彼等にも事実を知らせておくことがどうしても必要です。

渡辺 まことに残念なことですね。私も去年一年間は大きな挫折の年でした。朝日新聞がまだ8月5日、6日のいわゆる従軍慰安婦問題に関する自己批判をやる前段階のことです。

南京事件、従軍慰安婦、靖国、その他色々ないわゆる歴史認識問題に対しても日本の人間のまつとうな学究たちはこういう研究成果を残していく、日本の主張はこうだ、日本人はこう考える、それはアメリカのクオリティーペーパーが言っているものとは明らかに違う。そういうことを主張する英文の本を、亡くなり

ました岡崎久彦さん、東大の伊藤隆さんに監修をお願いして、私と古森義久さんが裏方となつてつくろうとしました。政府がやらないなら、民間人がやらなければ、と始めました。一気に資金ショートでどうにもなりませんでした。また英文で出版するとなると陰に日なたに圧力がかかつてもきました。

英語は欧米の知識人の胸に響く。ようなどビューティフルな英文でなければなりません。これは翻訳というよりもリライターの仕事です。いくら英語の上手い日本人でもダメです。日本人の心を知りアメリカ人の心をも知っている人。そういう人材が渺たるものであることも気付かされました。制作しても、取り上げるかどうかは『フォーリングアフェアーズ』や『ザ・ディプロマット』の編集長の考え方如何です。苦労が報われることはあります。

やつぱりこれは民間の仕事じゃなくて外務省の仕事であろうと、岡崎先生ともども外務省の関係にもお会いしました。でもダメでしたね。

米田 ところで最近の報道で、外務省関係者に、従軍慰安婦という虚偽のプロパガンダに今まで反論しなかつたのはなぜかと問いただ

この会議で交渉するかでした。小村は数ヵ国語の言葉操ることができました。

米田 頭を柔軟にして縦横無尽の行動を開き、有効な手立てを講ずるのが外交であり軍事であるはずです。私は戦前のある段階から日本の指導層が全く変わってしまったのではないかと思うのです。300年続いたいわば王朝である徳川幕府の権力構造を打倒したのが明治維新です。それに参加した人々、言わば「革命世代」やその人たちから薰陶を受けた政治家や官僚が日本の政治をリードしていた明治期は極めて見事にヒットを打つていたと思います。軍官僚が発生して、陸士で優秀な者が次は陸大へ行つて、というペー

多様性が危機における強靭さを育むことを世界に証明した江戸時代渡辺 江戸時代265年間の平和を経て、一挙に明治維新から近代国家をつくるための努力が花開きました。どうしてそんなことが可能だったのか。江戸時代の日本は言葉の本当の意味でヨーロッパに僅かな例しか見られない封建国家でした。多くの藩主がいて地方の各藩に固有の産業、固有の農作物、固有の技術、固有の貨幣もあれば、「修羅場」をくぐつてきたかたの武士です。日露戦争以降は陸軍幼年学校から出発する学校工リートが指導者になつていった。つまり近代国家の教育近代化メカ

けていたからです。諜報活動も少ない資金ながら存分なことをやつてきました。相手の条件に対しても有利な対案をぶつけます。それから語学力ですね。語学力は今の人間が優れているように思われていますがどんでもない。ポートマスク会議の初日のアジェンダは何語で



いたからです。諜報活動も少ない資金ながら存分なことをやつてきました。相手の条件に対しても有利な対案をぶつけます。それから語学力ですね。語学力は今の人間が優れているように思われていますがどんでもない。ポートマスク会議の初日のアジェンダは何語で

ニズムが生んだ学歴エリートの軍人です。国家がどうやって生存していくかという大局を見る指導者は失われていきました。学歴エリート制の失敗が露呈していく境目は満洲事変あたりでしょうね。

米田 本来そうですね。

多様性が危機における強靭さを育むことを世界に証明した江戸時代渡辺 江戸時代265年間の平和を経て、一挙に明治維新から近代国家をつくるための努力が花開きました。どうしてそんなことが可能だったのか。江戸時代の日本は言葉の本当の意味でヨーロッパに

例え中国と比較すると一番分かりやすい。中国は王朝の專制体制で天子様の命令に全部従う中央集権国家ですが、案外脆弱なものであります。日本のように地方に広く分散されていた人材、産業、富、学問、技術がある凝集力をもつたときの強さというものを明治維新のなかに見ます。

だから多様であることが強靭性の淵源なんですね。日本がほかのアジアの国に比べて大いに発展した近代史を持ちえたのは、十分に理由のあることだと私は考えて

たのか—学歴エリート制の弊害

渡辺 日本は明治維新後に帝國主義が盛りの世界に飛び込みました。今より情報もかなり少なかつた時代ですが、情報収集の上で的確な判断をして国益を守ろうと必死の努力を重ねました。おつしやるようあの頃の指導者は、少ない情報を的確に読みかづ発信する力量がありました。福澤諭吉、陸奥宗光、小村壽太郎などです。

日清戦争も日露戦争も情報戦で

渡辺 いかにも官僚の理屈ですば、中国と韓国に外交的な優位性を許すのみならず、倫理的、道義的優位性を与えてしまったという意味で、これほど日本の威信と国益を毀損することは他にないほどのものです。

たら、「日韓条約で相互に請求権放棄となつてるので、個別に議論しなくていい」という判断をしていました。偶然としました。こういうアタマでは、相手は嘘八百言いつつ載せていくと戦略を立て、交渉を始めましたが、てんてこ取り上げてはくれません。

米田 実は私は安倍総理とは縁がなくて様々な形で意見を言う関係ですが、総理は日本の情報戦の不足、弱体化している現実を重々承知していますよ。ただ官僚機構という土台の上に立たないとなかなか仕事が進まないから、大変強力な基盤を得たとは言われながらも、なかなか自分の思う通りにやり切れないのではないか。安倍総理が存分に官僚機構を使いこなして、その志を果たすことを期待したい。ところで、明治期の指導層の明確さ、柔軟で的確な対処能力は、今日に比して際立っていますね。

明治期日本指導層は何が違つて

渡辺 江戸時代は幕府による中央集権的な国家だと思われますけど、それは全く嘘です。幕藩体制と言われるよう、徳川藩と全国有力藩の連合体ですね。地方にしんどな力が溜まっていた。これが一旦緩急あらば一挙に凝集され物凄い力となります。それこそが明治維新なんですね。

渡辺 全くおっしゃる通りです。グローバリズムという言葉はまさに、せめぎ合いが続いているが、その必要性は否定しないが、それがナショナリズムの否定に連動することには反対です。国家や国境無き世界は甘美な夢想ではあるが、現実の世界は國家の枠組みをベー

スに、せめぎ合いが続いているが、この二面性への目配りができる知性が必要だと思います。

渡辺 全くおっしゃる通りです。グローバリズムという言葉は最近でてきた言葉で、かつてはイン



す。この感覚をもたされると、本気で大学で勉強しようという気分にはどうしてもらえないのです。これを克服するために一年生の前期にこの講義をやっています。君たちの入った拓殖大学というのは、そういう大学だ。先学はこういう苦労をして今日の拓殖大学を築いてきたのだ、という話をします。そうすると彼らが変わつてきますね。大学に対するコミットメントが明らかに強まつてきます。

米田 素晴らしいですね。しかし日本史が長く受験に必須でなかつたこともあり、自国の歴史について何も知らない国民が増えました。国民には共通の言葉があるものであります。例えばそれは歴史上の人物で、源義経って言つたらほぼ国民共通のイメージがあるはずです。歴史とは国民共通の物語ですから。つまり基本は歴史教育であり歴史の知識ではないでしょうか。このままでは民族固有の物語が日本から無くなってしまいます。

渡辺 私は日本史とは、日本人の「共通の社会的記憶」だと考えています。それは神話もフィクションも含むかもしれない。できるだけ客観的であることが望ましいけれども、建国物語っていうのは大体グレーなものですね。

米田 それは物語、ロマンだとうことでいい。それを史実と言つてゴリ押しするとおかしなことになる。我々はこういうロマンで我が国の歴史をつくってきたといふことでいいのです。

渡辺 そうなんですよ。あくまで共通の、というところが重要です。しかも日本という国ほど、世

共通の社会的記憶が歴史である——70年の断絶を回復するときがきている

米田 素晴らしいですね。しかし日本史が長く受験に必須でなかつたこともあり、自国の歴史について何も知らない国民が増えました。国民には共通の言葉があるものであります。

源義経って言つたらほぼ国民共通のイメージがあるはずです。歴史とは国民共通の物語ですから。つまり基本は歴史教育であり歴史の知識ではないでしょうか。このままでは民族固有の物語が日本から無くなってしまいます。

渡辺 私は日本史とは、日本人の「共通の社会的記憶」だと考えています。それは神話もフィクションも含むかもしれない。できるだけ客観的であることが望ましいけれども、建国物語っていうのは大体グレーなものですね。

米田 それは物語、ロマンだとうことでいい。それを史実と言つてゴリ押しするとおかしなことになる。我々はこういうロマンで我が国の歴史をつくってきたといふことでいいのです。

渡辺 そうなんですよ。あくまで共通の、というところが重要です。しかも日本という国ほど、世

界の中で同質的で連續的な歴史を紡いできた国はどこにもありません。言語的にも同質的で、またいわゆるエスニシティの面からも、これは遺伝子解析で最近随分解明が進んでいる分野ですが、こんな同質的な国家ないですね。

米田 当然ミックスではあるけども他国と比較したら極めて同質的ですね。

渡辺 宗教についても、日本に宗教があるや否やについては色んな議論がありますが、少なくとも一神教ではない。宗教を原因に民族が分裂した歴史は全くありません。世界で人種、言語、宗教についてこんな条件をもつ国はありません。

日本の歴史は連続的なです。同質的であるがゆえに連續的です。共通の歴史的記憶を迎るのにこんな適切な国はありません。G H Qの占領期以来の70年の断絶を元に戻す、そういうチャンスが到来していると私は思うのです。

米田 本当に若い世代の教育の最前線に立つて奮闘しておられることに敬意を表します。安倍政権のいまは日本にとつて得難いチャンスです。私も国家・社会のために全力で取り組んでいます。本日は有難うございました。



本史講義（PHP新書近著）など。

日本学術会議会員。アジア政経学会理事長（元）。山梨総合研究所所長。山梨県県政功績表彰者特別感謝状。

JICA国際協力功労賞。外務大臣表彰。正論大賞。成

O D A総合戦略会議議長（前）。日本安全保障危機管

理学会会長。外務省国際協力有識者会議議長。第17期

日本学術会議会員。アジア政経学会理事長（元）。山梨総

合研究所所長。山梨県県政功績表彰者特別感謝状。

大賞、「神経症の時代」（開高健賞正賞）、『新脱落論』（文

春新書）、『國家覚醒』（海竜社）、『アジアを救つた近代日

本史講義（PHP新書近著）など。

れ。慶應義塾大学卒業、同大学院博士課程修了。経済

学博士。筑波大学教授。東京工業大学教授を経て現職。

1939年6月

山梨県甲府市生ま

れ。慶應義塾大学卒業、同大学院博士課程修了。経済

学博士。筑波大学教授。東京工業大学教授を経て現職。

ワタナベトシオ

1939年6月

山梨県甲府市生ま

れ。慶應義塾大学卒業、同大学院博士課程修了。経済

学博士。筑波大学教授。東京工業大学教授を経て現職。

1939年6月